

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 189 年

1 月号

第 171 号



年頭挨拶

教区長 中 森 芳 郎

明けましておめでとうございます。

昨年 3 月 26 日、真柱様より山形教区長の御命を頂き、これまでに教区役職者の先生方始め、管内教会長、ようばく信者の皆様のお力添えを賜り、届かぬながらも精一杯につとめさせて頂きました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

昨年は教祖百四十年祭三年千日の仕上げの年として、それぞれの心定め完遂に邁進させて頂いた一年でした。山形教区としても、お陰様にて計画した諸活動を滞りなくつとめさせて頂き、管内教友の皆様の年祭活動を後押しさせて頂けたのではないかと感じております。

振り返りますと、あらゆる社会活動が自粛を求められ、人が集まることを徹底的に避けて通ったコロナ禍の時期を乗り越え、徐々にそれ以前の世の姿に復する動きが見られるようになったのが、ちょうど年祭活動の幕が切つて落とされた 3 年前と重なります。以来、本教でも様々な行事や会合が再開され、その中のいくつかは組織や内容を再編し、発展させた形で新たに開始されるなど、足踏みを余儀なくされた時間を取り戻

すかのようになり、全教で主体的、意欲的な年祭活動が展開されました。当教区でも各部署が成人の場を設け、成果を上げながら、この 3 年間を通して頂きました。特に、5 回にわたる「ようばく一斉活動日」では、各支部が自主プログラムに創意工夫を凝らし、心を込めて準備を進めた結果、回を重ねても参加者数を維持し、同じ地域に住まう教友同士の交流が生まれるなど、互いに支え合い励まし合いながら、有意義な三年千日を送る礎（いしずえ）となったのは、大変有り難いことでありました。そして、こうした流れを継続していきたいとの思いから、この地に繋がる全ての方々の勇みの場として本年 5 月 31 日、「山形教区祭」を開催することと致しました。これから鋭意準備を進めてまいりますので、多くの皆様のご参加をお願い致します。

本年 1 月 26 日、いよいよ教祖百四十年祭がつとめられます。昨年の秋季大祭で真柱様は、「つとめたらつとめただけのご守護は現れてくるのであります。また、いましつかり動いたことは、これから先の歩みのための種蒔きであります。無駄になることはないのです。あります」とお言葉を下さいました。年祭まで残りわずかとなった今日、「種蒔きと丹精」を心に置いて、年祭のその日まで勇み心をもって通り切らせて頂きましょう。本年も昨年同様にお力添え賜りますことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせて頂きます。

ようばく一斉活動日の開催を終えて

布教部長 高橋惣一



教祖百四十年祭三年千日の中心となる活動として「ようばく一斉活動日」を、立教186年10月29日の第1回を皮切りに、計5回開催しました。これまでにない開催形態ということもあり、各教区では事前の説明会が開催され、会場となる教会の駐車場問題などもありましたが、ご本部にはこちらの思いに寄り添った対応をして頂き、前向きに取り組むことが出来ました。

5回の開催を通して苦慮したのは、参加者数を出来るだけ正確に事前把握することでした。10年前の教祖百三十年祭「ようばくの集い」の参加者集計は現状では参考にならず、改めて各教会を通して参加者の事前把握を行い、ある程度の予測を立てたことで、当日参加が分かった方へもしっかり対応出来たと思います。

もう一つの大きな問題は、各支部に企画立案が委ねられた「自主プログラム」でした。どのような内容が相応しいのか、最初は全く手探りのような状態でしたが、回を重ねる毎に各支部で様々に工夫して、特色ある充実した内容で開催することが出来ました。一方、全ての支部が同一日程で開催することが事前に決められており、相互に協力して開催することが出来ず、支部によっては係員として勤める方が限られ、負担をお願いするような場面もあり、課題を感じました。

また開催後には、支部長先生より事後の所感などをお聞きし、各支部係員の方々、あるいは参加者の思いを共有できるように心掛けました。そのお陰もあり、参加者数を大きく減らさなかったことは、大変有り難く、素晴らしいことと喜んでいきます。

山形教区での全5回・全ての会場を合わせた参加者数は、939名に上ります。今回の活動日開催によって各支部に蓄積された経験を、これからの支部活動活性化の上に発揮することが出来れば、そうした意味からも誠に有意義な年祭活動であったと存じます。改めまして、実働頂いた全ての皆様方に厚くお礼申し上げます。

第5回ようばく一斉活動日

中央支部

11月2日、教務支庁を会場に開催し、63名の方々が参加下さいました。

今回の自主プログラムは、おつとめを勤めることをテーマとし、年祭へ向けて残された

日々を悔いなく送るために、“信仰生活の生命”とも言うべきおつとめの大切さを再確認することで、5回にわたる一斉活動日の締め括りとなりました。

当日はおつとめを勤めるのに先立ち、支部内の教会長が、自教会のようばくが実際に取り組んだおたすけでの出来事を取り上げ、真心込めておつとめを勤める大切さに触れた講話を行いました。

続いて参加者全員で、鳴物を揃えて座りづとめとよろづよ八首を勤め、一手一つに勇んだ姿を親神様、教祖にご覧頂き、互いに年祭当日まで、しっかりとつとめ切ることを誓い合いました。

藤原隆宏・中央支部道友社社友



米沢支部

11月1日、置賜分教会を会場に開催し、31名の方々がお集まり下さいました。

今回は「おつとめ」をテーマに掲げ、座りつとめ、よろず八首のおつとめまなびを行いました。

おつとまなびの前におつとめについてのお話をお聞きし、改めておつとめの大切さを心に置きながら、しっかりとつとめさせて頂きました。



プログラムの最後には、この度の一斉活動日の趣旨を受けて、こうした集まりを支部行事として、来年以降も継続して開催したい旨を鈴木真支部長が提案したところ、参加者からも賛同が得られ、スタッフ全員の喜びとなりました。

諸橋正史・

米沢支部社友

置賜支部

当初は神名流しを予定していましたが、会場の赤湯分教会周辺では前日から熊出没の情報があ



り、屋外での活動は危険を伴うとの判断から急遽予定を変更し、教祖百四十年

祭特設HPにアップされた全てのビデオを視聴することになりました。全国各地で様々に年祭活動に取り組んでいるようぶくの方々の姿を拝見し、私達も三年千日の仕上げに一層の勇み心を持たせて頂くことが出来ました。参加者は23名でした。

全5回の一斉活動日を振り返り、進め方や内容に反省点や改善点があります。参加者、スタッフ共に毎回勇んで勤め上げられたと思っています。ご参加下さった皆様方に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

森谷賢治・米東分教会長

鶴岡田川支部

11月1日、荘内分教会を会場に7名の少年会員も含めて、32名の方々がご参加下さいました。

自主プログラムは「おさづけの取り次ぎ」がテーマでした。羽前分教会長と鶴岡分教会長によるデモンストレーションの後、南出羽分教会長がおさづけを取り次ぐ際の心構え、取り次ぎ方、留意すべき点を説明しました。



その後、二人一組になって実際におさづけを取り次ぎ合いました。その後の質疑応答の時間では、多くの方々が積極的に質問され、大変有意義な活動日でした。最後は恒例のお楽しみ抽選会が行われ、楽しい一時を過ごしました。

鈴木伸次・
鶴岡田川支部社友

酒田飽海支部



11 月 2 日、飽海分教会を会場に 19 名の方にご参加頂きました。

自主プログラムでは、元の理のビデオを鑑賞しました。このビデオは前支部長・廣瀬道宏先生ご

夫妻が 10 数年前に独自に編集したもので、当時民放のテレビ番組で人間誕生の神秘について放送された内容を取り入れて、元の理の教理の理解に役立つよう、また私達お道の信仰者が自信を持って教祖の教えを世の中へ伝えていけるようにとの考えから作られたものです。

鑑賞後、数名の方々に感想を伺いましたが、元の理の教えの奥深さ、またお道の素晴らしさを再認識出来た、あるいは、今日の一斉活動日に参加して改めて信仰を見つめ直す機会を得られたと、感謝の声を多数頂きました。

武田正人・飽海分教会長

中央西支部

11 月 2 日午後 1 時半から約 2 時間、14 名の方々にお集まり頂き、左澤分教会を会場に開催しました。

自主プログラムでは、今回もおさづけの取り次ぎ合いを行った後、支部内の福祉施設に提供するゴミ箱を新聞紙で作成しました。この活動日に合わせて、お一人で 2 千枚ものゴミ箱を作り持参して下さった方、また、このひのきしんを生き甲斐のようにして取り組んで下さっている方もいらっしゃいました。

参加者の皆さんからは、今後も支部活動として継続して欲しいとの声が聞かれるなど、この度の一斉活動日の自主プログラムが、支部内の信者さん方の、文字通り自主的な取り組みを促しているという、良い影響を及ぼしていることが分かり、大変有り難く感じています。



藤野 徹・
中央西支部
社友

教務支庁日誌

10 月

2 日 主事会 教区例会 婦人会例会

災救隊例会

6 日 中央支部例会 同支部婦人会例会

19 日 女子青年例会

11 月

2 日 中央支部 ようばく一斉活動日

3 日 主事会 教区例会 婦人会例会

学担例会

6 日 中央支部例会 同支部婦人会例会

30 日 女子青年例会

12 月

1 日 たすけ推進会議 庁舎内大掃除

主事会

2 日 教区例会 地方委員会

婦人会例会

教区総会実行委員会

6 日 中央支部例会